

## ～内閣総理大臣表彰～

なかじま けん

# 中 健

山梨県南アルプス市／山梨県推薦

活動開始:平成28年4月

災害時に通信手段になる「災害救援鳩」の研究を行っています。現在の通信手段は電気に依存するものがほとんどであり、電気が遮断されるとどこでも陸の孤島と化す恐れがあります。そこで子供の頃から飼育しているレース鳩を災害時の通信手段として使う研究を中学生の頃から始めました。鳩を通信手段とすることの問題点として、近年は鳩が帰還する割合が減少していることが挙げられます。この原因を究明するために超小型GPSを用い鳩の帰還コースを調べたり、ドローンによる調査を行ったりしています。また、鳩自身の帰巢能力を高めるために、鳩の品種改良にも取り組んでいます。さらに、救援鳩使用の実現に向けて災害ボランティア団体と会議を行ったり、鳩の能力を知ってもらうために地域の子供たちと鳩の通信実験を行ったりするなど様々な取組を行っています。

### 選考委員のコメント

災害時の通信手段として鳩に着目し、多様な主体と協力して独創的な実証実験を行い、その可能性を明らかにしています。社会課題の解決につながる研究として期待できるものであり、大変高く評価しました。

### 受賞の言葉

今回は、大変栄えある表彰をしていただき、心から感謝いたします。私の活動は、研究支援をくださった総務省や、放鳩実験などご協力いただいたボランティア団体、地元の小中学生など、多くの支えがあり成り立っているものです。支援してくださった皆様に感謝すると同時に、皆様とともに表彰されたものと感じております。

災害救援鳩を実現するには、鳩の帰還を妨げる外的要因を除くことと、鳩自身の帰巢性を高めることが考えられます。これまでの研究で、原因の可能性まで迫ることはできましたが、科学的な立証までには至っていません。春から大学に進学し、より研究を深め、内閣総理大臣表彰に見合うだけの成果を残すことが目標です。新発見に向けて、これからも頑張ります。



中 健 君



鳩の飼育



実験の様子



表彰式の様子